こあゆ

平成 25 年 11 月 1 日現在
世帯数　15,509
人　口　36,681 人
（男子）　18,230 人
（女子）　18,451 人
（水元、南水元、東水元累計）

第 59 号 2013. 12. 9　葛飾区青少年育成水元地区委員会

かつしかスポーツフェスティバル2013

子ども会に入ろうよ！

11月17日（日）午後から水元小学校体育館で、「ジュニアーリーダーと遊ぼう」というイベントが開催され、ジュニアーリーダー講習生やジュニアリーダークラブ員２０名と子どもたち100名が参加しました。

講習生が上級・中級・初級に別れグループになり、それぞれのグループが遊びのリーダーとして、1年間勉強してきた成果を、子どもたちと一緒に実践しました。それぞれの遊びが幼児から6年生まで一緒に楽しめるように工夫されていて、楽しくあっという間の2時間でした。参加してくれたみなさんお疲れさまでした！

子ども会では、他にもいろいろなイベントが開催され、同じ地域の他学年の子どもたちの交流だけではなく、他の地域の子ども会と合同のイベントもあるので、たくさんのお友達と交流することができます。もちろん、子ども同士だけではなく、町会の大人たちとも顔見知りになりますので、日常の安全面を考えても安心です！

町ぐるみでの子育ての大切さが見直されてきた現在、ぜひ子ども会に入って一緒に楽しみましょう！

ジュニアーリーダー講習会初級生の田中諒くん・中級生の関優太くんにインタービューしました！

Q：どうしてジュニアリーダー講習会を受講しようと思ったの？
A：夏休みにかつしか少年キャンプ村に参加し、子どもが好きだったので一緒に楽しく活動できたらと思った。
A：将来何をしたいか決まっていなかったので、何かきっかけが見つけられるのではないかと思った。
Q：どんなジュニアリーダーになりたいですか？
A：子どもたちが楽しく遊べるようにまとめられるリーダーになりたいです。
A：子どもたちを引っ張って、メリハリのあるイベントを運営できるリーダーになりたいです。
Q：今日の感想は？
A：疲れた～！ でも、おもしろかった！！
A：大変だったけど、たくさんの子どもが集まってくれて楽しかったです。

子どもを犯罪から守りましょう！

区では、子どもに対する不法行為や不審者などの目撃通報を受け、「葛飾区安全・安心情報メール」を配信しています。子どもに対する不審者の情報は 24 年度年間 41 件に対し、25 年度は既に 45 件（11 月 1 日現在）となっています。子どもの健やかな成長のために、地域の見守りは不可欠です。子どもたちが安心して生活できる地域社会にしましょう。

子どもの被害の特徴

（1）多発時間帯は午後２時から６時までの間
（2）親に被害にあったことを言うと怒られるのではないかと恐れ、なかなか親に話さない。
※子どもの様子をよく見て、普段と異なる時はやさしく声をかけてあげてください。

子どもの対応策「いかのおすし」

「いか」・・・知らない人について「いか」ない
「の」　・・・知らない人の車に「の」らない
「お」　・・・何かあったら「お」お声を出す
「す」　・・・「す」ぐ逃げる
「し」　・・・何かあったら必ず「し」らせる

大人の対応策

（1）子どもの行動は、日頃から把握しておく。
（2）子どもの変化を見逃さない。
（3）安全な防犯環境をつくる。（道路、公園、学校等。）
（4）巡回パトロールを実施する。
（5）何かあったときに逃げ込める「子どもひまわり 110 番」を把握しておき、子どもに教えておく。
（6）情報の共有をする。区ホームページから情報メールを登録できます。
（トップ→オンラインサービス→メール配信サービス→葛飾区安全・安心情報メール）

町会や学校の掲示板に貼ってあるので見てネ！

編集後記

携帯電話、パソコン、スマートフォンと、次々と便利で魅力的な機器が登場して、子どもから大人まで画面に夢中になっている姿は日常的なものとなっています。実際、どこにいても誰とでも会話が出来たり、簡単に買物をしたり、仕事をする上でも私たちの生活にネットは欠かせなくなっています。その分、様々な危険が起こることを私たち大人が改めて認識すること。そして、子どもたちと何が危険かを話し合い、何かあったらすぐに相談できる環境を作っていくことが大人の責任だと思います。

平成25年12月9日発行
葛飾区青少年育成水元地区委員会事務局（会長宅）
☎（三六二一七）一〇九五番

葛飾区少年の主張大会予選会

10月19日（土）に少年の主張大会水元地区予選会小学生の部が、水元集い交流館において行われました。22名の出場者が、立派に主張し、会場は熱気にあふれていました。

なお、入選の杉本優音さんは、11月16日（土）に行われた本大会で優秀賞を受賞しました。

入　賞：杉本 優音　花の木小 6年　一つずつの命
佳　作：島田 早織　花の木小 6年　コミュニケーションのつながり
佳　作：田口 詩織　原田小　6年　地球を良くするのは 私たち
佳　作：長谷川 結　花の木小 6年　家族の絆
努力賞：上野 奨貴　原田小　6年　僕たちに幸せな未来を
努力賞：佐藤 隼斗　東水元小 6年　ブラックバスが一匹もいない水元公園

参加校
水元小学校
東水元小学校
原田小学校
花の木小学校

水元地区委員会　委員研修会

11月18日（月）の11月の定例委員会にて平成25年度第2回地区委員研修会を開催いたしました。

講師に警視庁亀有警察署生活安全課巡査部長　柴崎隆氏　をお招きし、テーマ「ネットに潜む危険性」～子どもたちを被害から守るために～ということで、現在おこっている事件や危険性についてDVDを用いてわかりやすくお話しいただきました。内容の一部ですがご紹介いたします。

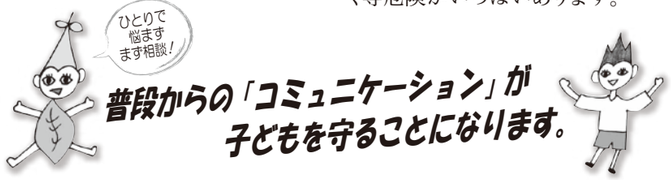
～トラブルや犯罪から身を守るために～

★スマートフォン、パソコンでのインターネットは自己表現、コミュニケーションの場だから自分の個人情報、動画、写真はしっかりと管理しましょう。

★一度ネット上に流出した情報は、世界中で見られ、削除することは、非常に難しいのです。

★また、さまざまな犯罪に巻き込まれる危険性があります。

スマートフォンは携帯電話とは異なり、パソコンに電話機能がついたもので、中高生向けのフィルタリング（トラブル、犯罪から青少年を守るもの）は、100%安心ではありません。インターネット上の動画サイト等にアクセスし、高額なサイト利用料金を請求される。不当料金請求（ワンクリック詐欺）や女の子に男性が女性になりすまし、写真（裸体）を送らせ世界中にばらまく等危険がいっぱいあります。



普段からの「コミュニケーション」が子どもを守ることになります。

私のひとり言

「私の財産」

水元中学校長　牛木　明

安室奈美恵さんの軽快なテーマソング、そしてブルーインパルスが美しく飛行し、大空にスモークでいろいろな図形を描く。家族が見ていたテレビドラマでした。そして、エンディングにキャスト名が流れ、高橋努、「ん？」。同姓同名？ありふれた名前だし…、しかし、あの目…、本名じゃ出せないでしょう。などと自問を繰り返しながらも『もしかして！』『でもあの子はJリーガーを目指していたはず。』など当時を回想。ついに、インターネットでその名を検索。出身大学、趣味特技のサッカー…一致。

さらに、二十年前の生徒名簿を引っ張り出し、勇気を出して電話。電話口にはお母さん。夜分に男からの怪しい電話に当然のごとく警戒。なんとか、元担任であることを認識してもらい、本題へ。そして本人であることを確認。実に二十年ぶりの会話でした。その後、彼の主宰する劇団の公演に行き、彼とも二十年ぶりの会話。卒業してしまうとだんだんに疎遠になり、卒業生の活躍の様子はなかなか見られないので、彼の活躍が自分のことのようにうれしく思い、まさに教師冥利に尽きるという、ひと時でした。

後日頂戴したお母さんからのお手紙。さらさらと毛筆で書かれたものでした。

「！」そうだ卒業証書。

筆など使えない私にとって、三月の卒業式に手渡す卒業証書の名前書きが懸案になっていました。改めてお母さんに依頼したところ快諾していただきました。なんという偶然、そしてなんという人の縁でしょうか。

『縁』に助けられることの多いこの頃です。今まで『いろいろな方とお付き合いできた』お蔭です。「困ったときに誰かが手を貸してくれる」そう思えます。自分のもつ人間関係、これは私の大きな財産といって良いと思えた出来事でした。

少年時代

水元地区委員会　環境部長　中谷　正一

私の故郷は長野県、木曽御嶽の麓です。昭和三十年代は子ども心にも活気がありましたが、現在は空き家が目立つ「日本の田舎」を象徴するような山郷です。私はそのような故郷で東京に憧れていました。オーケストラの指揮者になりたい？？

高校を卒業し、憧れの東京で就職しました。そして早速合唱団に入り、今流行りのベートーベン「第九」を歌いました。しかし作曲家芥川也寸志氏主宰の合唱団はレベルが高く早々辞めてしまいました。次に挑戦したのは演劇です。職場の先輩に誘われ押上で活動しているアマチュア劇団の戸をたたきました。「芝居作りは人間作り」素敵な仲間に巡り会え四十年の付合いになりました。

水元には三十年。子どもにとっては「故郷」です。そのような地域作りが必要ですよね。

新水元児童館　館長　井上　美智子

私は、葛飾区金町に生まれ育ちました。葛飾区から離れたことがありません。私の子どもの頃は、映画の「オールウェイズ」そのまま！ザ・昭和そのもので、空き地や道路で近所の子たちと大縄跳び、ゴムとび、缶けり、鬼ごっこ、ベーゴマ、メンコなど、日が暮れるまで遊んでいました。路地には、紙芝居屋さんや型屋さんも来ていましたね。妹や弟も連れて一緒に遊ぶのはあたりまえで、大きい子は小さい子の面倒を見るというのはごく普通のことでした。また、ご近所の庭で西瓜をごちそうになり、種とばしをしたり、おやつをいただいたり、遅くまで遊んでいると早く帰りなさいと注意をされたりと、ご近所の方たちには、大変お世話になりました。

中学生の時アニメのアタックNo.1に憧れ、バレーボール部に入部、それ以降高校、大学、ママさんバレーと、今でもバレーボールとは縁が切れず年甲斐もなく継続中です。この写真は、道路で輪になって踊って（何を踊っているのかは忘れましたが）遊んでいる写真と、お祭りの時の写真です。今回、写真を探すのにあたり、昔の写真を見て懐かしさとともに、子どもの頃が走馬灯のように思い起こされ、心がほっこりしました。是非、子どもの頃の写真を見ることをお勧めいたします。

現在子どもたちの遊びは、変わりましたが、遊びを通して仲間作りや社会性を育む事は変わりません。改めて、遊びの大切さを感じました。